



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ケイ・ウノ 上場取引所 名
コード番号 259A URL <https://www.k-uno.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 青木 興一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CAO兼執行役員 (氏名) 渡沼 和則 TEL 080 (7638) 1240
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,928	5.7	47	△3.0	70	42.1	51	78.0
2025年9月期第1四半期	1,823	-	48	-	49	-	28	-

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 43百万円 (50.8%) 2025年9月期第1四半期 29百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	48.40	47.16
2025年9月期第1四半期	27.70	26.76

(注) 1. 当社は、2025年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社株式は2024年10月8日付で名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、2025年9月期第1四半期連結会計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新規上場日から2025年9月期第1四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,898	1,313	26.8
2025年9月期	4,542	1,269	28.0

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 1,313百万円 2025年9月期 1,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年9月期	-	-	-	-	-
2026年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,591	0.9	3	△96.6	△8	-	△28	-	△26.81
通期	7,477	6.8	120	17.6	104	37.8	74	228.7	71.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	1,055,200株	2025年9月期	1,055,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	一株	2025年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	1,055,200株	2025年9月期1Q	1,035,591株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年2月13日(金)に当社ウェブサイトおよびTDnetに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、原材料価格の高騰や円安を背景とした物価上昇の影響を受けた一方で、労働力不足への対応策としての賃上げが雇用・所得環境の改善に寄与することで、個人消費が底堅く推移いたしました。また、企業による投資が堅調に推移するなど、全体では緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、為替相場の変動や地政学リスクの高まりによる不確実性の増大など、景気の下振れリスクも存在しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、株高を背景とした富裕層の旺盛な消費意欲が高額品の販売をけん引した一方で、実質賃金の伸び悩みによる消費の二極化が進行したことにより、日常使いの宝飾品の販売は軟調に推移したほか、国際情勢悪化の懸念等を背景とした金・プラチナ価格の急上昇がコスト増加を招くなど、宝飾品業界全体として厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、2025年12月に収益性と成長性を両立させながら当社グループを成長させるべく、「オーダーメイド戦略」「IP（知的財産）戦略」の2つの戦略とこれらを支える「基盤強化」を基本方針とした、中期経営計画（2026年9月期～2028年9月期）を策定し、「オーダーメイドでお客様に特別な感動と喜びを贈り続ける」というパーパスのもと、お客様一人おひとりにとってのオンリーワンを提供するべく、体験価値に重点を置いた質の高いサービスやものづくりの強化に取り組んでまいりました。

当社におきましては、2025年10月に札幌店を移転オープンし、移転前にはなかった工房の併設や手作り指輪サービスを開始するなど、より体験価値に重点を置いた当社ならではのサービス訴求が可能な店舗づくりを行いました。また、店舗において顧客のニーズに合わせた提案をさらに的確に行うための教育やホリデーシーズンフェアの開催が奏功したこと、台湾等への卸販売が順調に推移したこと、加えて、更なる売上増のための販路拡大の一環として、他企業とコラボレーションしたOEM（相手先ブランドによる製造）販売を積極的に展開したことが、売上の拡大に寄与しました。一方で、想定を上回る金・プラチナ価格の高騰が続いており、価格改定による商品単価の上昇や製造に係る人件費や経費の削減により原価の低減に努めたものの原材料費の増加を吸収できず、売上原価率が上昇しました。

子会社である株式会社ユートレジャーにおきましては、顧客ニーズを的確に捉えたマーケティング戦略の実施によりプライダグジュアリーで多くのお客様から支持を得ることができたほか、ファッションジュエリーでも新作商品だけでなく、過去人気商品のリニューアル販売が好評を博しました。また、昨今の推し活や貴金属商品への関心の高まりをふまえ、IPを用いた純金製のコインや18金製フィギュア等ジュエリー以外の商品販売にも注力したことに加え、IPの取り扱い幅拡大を目的として国内発だけではなく海外発IPを用いた商品開発にも積極的に取り組みました。

タイの子会社であるU-International Factory Co., Ltd.におきましては、当社グループにおける受注量増加に対応するため、職人の増員及び教育を実施したことで、生産量の増加と製造効率の向上を実現いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,928,250千円（前年同期比5.7%増）、営業利益47,491千円（前年同期比3.0%減）、経常利益70,530千円（前年同期比42.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51,067千円（前年同期比78.0%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、「製造小売事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,898,104千円となり、前連結会計年度末に比べ356,007千円の増加となりました。これは主に、売掛金が103,061千円、原材料及び貯蔵品が162,001千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,584,564千円となり、前連結会計年度末に比べ312,099千円の増加となりました。これは主に、賞与引当金が82,624千円減少した一方、契約負債が100,623千円、長期借入金金が88,073千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,313,539千円となり、前連結会計年度末に比べ43,907千

円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が51,067千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、本資料に記載した業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,021,288	1,052,999
売掛金	438,958	542,019
商品及び製品	763,709	830,682
仕掛品	326,846	302,357
原材料及び貯蔵品	706,539	868,540
その他	145,532	128,978
流動資産合計	3,402,875	3,725,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	380,802	398,452
土地	43,000	43,000
その他(純額)	106,905	107,739
有形固定資産合計	530,707	549,191
無形固定資産	84,720	102,505
投資その他の資産	523,792	520,827
固定資産合計	1,139,221	1,172,525
資産合計	4,542,097	4,898,104
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,927	94,510
短期借入金	440,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	325,272	365,316
未払金	172,207	179,378
未払費用	221,085	245,211
未払法人税等	25,755	2,775
契約負債	833,126	933,750
賞与引当金	143,850	61,226
株主優待引当金	6,000	—
その他	47,351	96,581
流動負債合計	2,299,577	2,518,750
固定負債		
長期借入金	689,842	777,915
退職給付に係る負債	5,745	6,503
資産除去債務	277,278	281,374
その他	21	21
固定負債合計	972,887	1,065,814
負債合計	3,272,465	3,584,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,040	55,040
資本剰余金	350,780	350,780
利益剰余金	847,014	898,082
株主資本合計	1,252,834	1,303,902
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,797	9,637
その他の包括利益累計額合計	16,797	9,637
純資産合計	1,269,632	1,313,539
負債純資産合計	4,542,097	4,898,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,823,968	1,928,250
売上原価	757,464	867,330
売上総利益	1,066,504	1,060,919
販売費及び一般管理費	1,017,551	1,013,428
営業利益	48,952	47,491
営業外収益		
受取利息及び配当金	76	46
為替差益	9,091	18,798
持分法による投資利益	—	7,331
その他	426	66
営業外収益合計	9,593	26,243
営業外費用		
支払利息	2,347	3,093
持分法による投資損失	148	—
支払手数料	6,314	—
その他	110	110
営業外費用合計	8,919	3,203
経常利益	49,626	70,530
税金等調整前四半期純利益	49,626	70,530
法人税等	20,944	19,462
四半期純利益	28,682	51,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,682	51,067

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	28,682	51,067
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	427	△7,160
その他の包括利益合計	427	△7,160
四半期包括利益	29,109	43,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,109	43,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、製造小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	20,956千円	21,389千円